

# 温泉カルテ

〔施設名〕 ひょうたん温泉



## 温泉の利用情報

平成19年7月現在 施設申告  
〔浴槽名〕男湯大浴場、検風呂

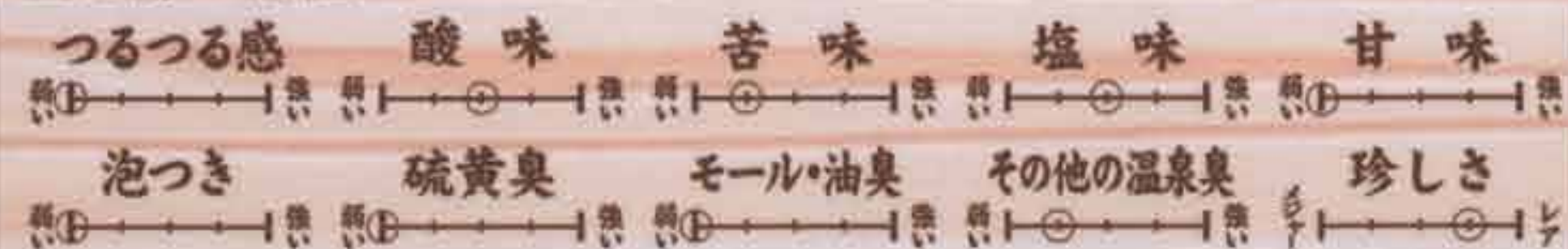
循環	無	
加温	無	
加水	無	溶存物質合計(浴槽) 3,898mg/kg
入浴剤及び殺菌剤	無	
その他	有	竹製温泉冷却装置(実用新案登録第3112971号)を用いて源泉を冷却しています。
		源泉所有者 自家源泉 飲泉許可 有

## お湯の感覚評価

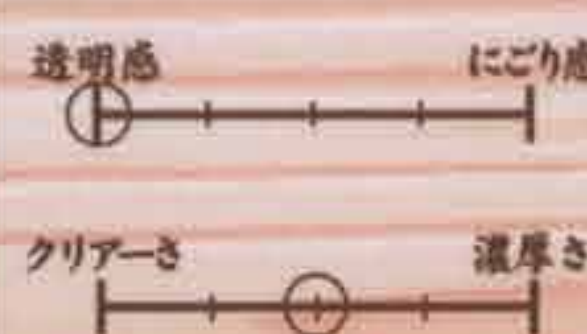
評価実施員 べっぴん温泉Gメン  
評価実施日 平成17年5月24日  
評価場所 男湯 打たせ湯浴槽、露天風呂、内湯(深い、浅い)

■お湯の特徴:酸味のある食塩泉で別府の中でも変わり種の温泉

■お湯の個性:



■お湯の色:透明



■浴感と成分の解説:

透明な食塩泉ながら弱い酸味(明礬味)を併せ持つ。つるつる手前の柔らかい感触がある一方、塩によるキシキシ感もある。硫黄泉で酸性の湯は全国に数多いが、食塩泉で酸味を感じるのは鉄輪の一部のみ。透明、少酸味+少塩味で、わずかに湯の香りがある。

## 浴槽内・源泉の温泉分析情報

浴槽の情報  
(男性大浴場、検風呂)

■泉質:ナトリウム—塩化物泉に相当



■成分値



■浴槽容量:3,600リットル  
■温泉投入量:1,500リットル/時  
■浴槽までの距離:160m  
■浴槽湯の交換頻度:1日に1回  
■レジオネラ:検出されず  
(平成17年10月18日)

測定年月日 平成18年3月24日

源泉の情報  
(ひょうたん温泉)

■泉質:ナトリウム—塩化物泉



■成分値



■湧出量:30,000リットル/時  
■源泉温度:101.2°C  
■掘削深度など:300m  
■掘削年月日:平成6年1月13日

測定年月日 平成6年1月13日

数値の  
見比べ方のポイント

●浴槽と源泉の「泉質」が同じであれば、源泉に近い泉質のお湯に浴槽で浸かっていることになります。  
●泉質や成分が異なる場合は、加水が主な原因と考えられます。「温泉の利用情報」の「源泉率」を参考にしてください。

1. 申請者住所 大分県別府市鉄輪159-2 氏名 株式会社ユニネット	II-1. 試料採取場所 男湯(ひのき風呂)	II-2. 源泉名 ひょうたん温泉 別府市大字鉄輪字風呂本172及び182-2
III. 湯出地における調査及び試験成績 1. 調査及び試験者 河野 孝子 2. 調査及び試験年月日 平成18年3月24日 3. 泉 温 42.0°C (気温18.5°C) 4. 湧 出 量 測定せず 5. 加 水 試験 無色・透明・無臭 6. pH値 8.3 7. 浮遊物 測定せず	IV. 試料室における試験成績 1. 試 験 者 野村 典子 2. 試験終了年月日 平成18年3月28日 3. 加 水 試験 無色・透明・無臭 (24時間後) 4. 密 度 1.0010 g/cm <sup>3</sup> (20°C) 5. pH値 8.36 6. 炭酸水素塩 3.867 g/kg	V. 遊離成分 1. 遊離成分 1977.5(mg) 1977.5(mg) 1977.5(mg) 2. 硫酸根 SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 1850.8 48.58 83.55 3. 塩化物 Cl <sup>-</sup> 440.3 9.17 16.45 計 2291.2 57.73 100.00
VI. 泉 質 ナトリウム—塩化物泉 田舎 検風呂泉 ( 総硬度 弱酸性 高温泉 )	VII. 成分値 成分 1977.5(mg) 1977.5(mg) 1977.5(mg) 硫酸根 SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 1850.8 48.58 83.55 塩化物 Cl <sup>-</sup> 440.3 9.17 16.45 計 2291.2 57.73 100.00	VIII. 成分値 成分 3898 42.0 溶存物質合計 (成分を換算) 3898 mg/kg 温度 (°C) 42.0

1. 申請者住所 別府市大字鉄輪159-2 氏名 株式会社ユニネット 代表取締役 河野 孝一	II. 源泉名 ひょうたん温泉 別府市大字鉄輪字風呂本172	
III. 湯出地における調査及び試験成績 1. 調査及び試験者 大野 智 小野 文也 2. 調査及び試験年月日 平成6年1月13日 3. 泉 温 101.2°C (気温7.8°C) 4. 湧 出 量 測定せず ( 自噴 掘削 300 m ) 5. 加 水 試験 無色・透明・無臭・無味・無臭	IV. 試料室における試験成績 1. 試 験 者 大野 智 小野 文也 2. 試験終了年月日 平成6年2月18日 3. 加 水 試験 無色・透明・無臭・無味・無臭 ( 24時間後 ) 4. 密 度 1.0099 g/cm <sup>3</sup> ( 20 °C ) 5. pH 値 8.32 6. 炭酸水素塩 3.6410 g/kg ( 110 °C )	V. 遊離成分 1. 遊離成分 1977.5(mg) 1977.5(mg) 1977.5(mg) 2. 硫酸根 SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 1850.8 48.58 83.55 3. 塩化物 Cl <sup>-</sup> 440.3 9.17 16.45 計 2291.2 57.73 100.00
VI. 泉 質 ナトリウム—塩化物泉 田舎 検風呂泉 ( 総硬度 弱酸性 高温泉 )	VII. 成分値 成分 3724 101.2 溶存物質合計 (成分を換算) 3724 mg/kg 温度 (°C) 101.2	VIII. 成分値 成分 3898 42.0 溶存物質合計 (成分を換算) 3898 mg/kg 温度 (°C) 42.0

**浴用の適応症** きりきざ、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

**浴用の禁忌症** 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

**注意事項**

- 入浴中は安静にし、入浴後は休息をとる。
- 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こす事があるので十分注意すること。
- 入浴時間は、はじめ3~10分が良い。
- 最初の数日間は、入浴回数を1日1回とし、その後1日2~3回までとする。
- 入浴をはじめて3~7日後に「湯あたり」が現れることがある。その時は1~2日休浴して再び入浴をつける。
- 温泉治療に必要な期間は2~3週間である。
- 原則として、次の疾患の者は高温浴(42°C以上)を禁忌とする。(高度の動脈硬化症・高血圧症・心臓病)
- 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さないこと。(湯ただれを起こしやすいため入浴後、真水で身体を洗うか、拭取る)
- 食事の前、直後の入浴は避けることが望ましい。
- 飲酒しての入浴は特に注意すること。

※適応症、禁忌症は、浴槽の分析結果に基づいて記載しております